

認定看護師便り



新・敗血症のガイドライン

qSOFA



敗血症のガイドラインが2016年に改定されました。

その一つに、quick SOFA (qSOFA) スコアを採用しています。これは、一般病棟などで敗血症を疑うためのより簡便なツールとして考案されました。

qSOFA スコア

呼吸回数 ≥ 22 回/分
意識レベルの変化 (GCS < 15)
収縮期血圧 ≤ 100 mmHg

感染症がベースにあって
スコアの3つのうち2つ以上
該当すれば敗血症を疑う

異常の早期発見ができれば
早期治療ができ重篤な状態を避けられます。



そもそも

敗血症って？

「感染症に対する制御不能な宿主反応が起因した生命を脅かす臓器障害」¹敗血症および敗血症性ショックの国際コンセンサス定義第3版 (Sepsis-3) と定義されます。簡単に言えば、**臓器の障害を伴う病態のみ**が敗血症となります。

普通、身体に何らかの感染症が存在する場合、細菌は感染症がある部分だけに留まります。しかし、敗血症では、感染症が身体の一部に留まらず、血液中に細菌が入り込んだりすることで、全身性の反応が起こって、身体の状態が悪くなってしまいます。血液中に細菌が入り込む原因としては、腎盂腎炎といった尿路感染症、肺炎などの呼吸器疾患、胆嚢炎、胆管炎、腹膜炎、褥瘡感染などがあります。

感染が起きるとさまざまな症状が現れます。悪寒・戦慄(ふるえ)を伴う発熱が最も主要な徴候です。また、高齢者も一般的に敗血症を発症しやすい傾向があるとされています。

敗血症が疑われる症状

38℃以上の発熱、or 36℃以下の低体温、

+

意識状態が悪い、普段より血圧が低い、
呼吸が早い、脈が速い、
手足が異常に冷たい、 etc



敗血症が疑われる症状に気づいたら
直ちに医療機関を受診してください。

<文責>

救急看護認定看護師 村中恵美

～市民講座開催のご案内～

平成30年1月20日(土曜日)

14:00～16:00

『救急車に来るまでにできること』

心肺蘇生法・応急手当など

※ 事前申し込みなし 気楽にご参加ください
問い合わせ：医療センター 経営企画課

